

保護者からの事業所評価の集計結果（公表）

別紙4

公表：令和3年11月30日

事業所名こばんはうすさくら八幡西割子川教室

保護者等数（児童数）25 回収数18 割合72%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	1			・ほかの施設のことはわかりませんが十分スペースがあると思います。 ・様々な活動も出来ているようで十分なスペースがあると感じます。	なるべく安全に物の配置を考えてスペースの有効活用に努めます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	2		4	・先生の数は子供が増えるにつれて増えていると思います。 ・専門的なことにも相談にのっていただけています。	主に保育士・児童指導員が勤務しております。専門性のある職種を入職させる検討もしております。また様々な研修に参加する機会を設けており、遠隔での研修体制も整えています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構成化された環境になっているか。また、障害の特徴に応じ、事業所の整備等は、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされているか	13	2		3	・玄関の段差は少し気になります。 ・特に問題があるようには感じていません。	・ロッカーやスケジュール、送迎者など細かく視覚支援も取り入れていきます。 ・危険と思われるところに関しては職員の付き添い見守りが出来る体制を整えて継続して対応してまいります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16			2	・幼児用の便器や手洗い場もあって綺麗でした。	・清潔感を保つために掃除のチェックシートを活用し対応しています。
適切 な支 援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、児童発達支援計画 ² が作成されているか	17			1	・半年たったことでできなかったことが徐々に出来るようになった	今後も児童の状態・状況に合わせて支援内容を職員同士で話し合っ て対応してまいります。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15			3		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	1		1	同じプログラムでも違う内容を行っているようで満足している	評価に関しておできるだけ点数だけでなく、送迎時に当日の様子を補足させていただきます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	3		5	・毎日今日の出来事を子供が楽しそうに話してくれます。 ・様々な場所へお出掛けしているようで嬉しいです。	引き続き児童が楽しく参加できるプログラムやイベントを企画したい と思います。ご要望等あれば是非お聞かせください。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	3	5	5		新型コロナウイルスの影響もあり予期せぬ交流は極力控え、交流をする際はしっかりと計画を行って目的をもった交流を行って いきたいと思ひます。
保護 者へ の説 明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18					引き続き、定期的に変更や追加があった際にはご説明をさせてい たいただきます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	16	2				
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	10	3	3	2	・感染症の関係でなかなか施設へ行くことは難しいです。	新型コロナの状況によって今後は保護者勉強会なども取り組みたい と考えています。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	16	1		1	・施設側から連絡がありとても助かっています。 ・課題に対しての振り返りなどがありとても助かっています。	定期的に家庭との連絡を図り、施設の様子と照らし合わせて課題を達成できるように検討してまいります。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	2	3	4	・問題行動等があれば双方共有しご相談させていただいております。	困った際にはいつでも結構ですのでご連絡をください。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	1	5	6	・今のところないが無い事でも不満はありません	上記にもあります通り、新型コロナの状況を鑑みて勉強会等を検討したいと考えております。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15			3	相談をすれば直ぐに関係者に周知をしてほとんどその日中には回答をいただけており安心しています。	引き続き相談をいただいた場合は可能な限り当日中には何らかのご返答をさせていただきたいと考えております。お気軽にご相談ください。
	⑰	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	1		2		メール等を通じて出来る限り後に残る形で予約等のやり取りを行っていきたく思います。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10		3	5	・あまり更新されていないようなので更新してほしい ・子供の様子を写真などで見れたらと思います。	出来るだけ更新の頻度を上げて、児童の成長の過程や楽しんでいる姿をご覧いただきたいと思います。
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	17			1		鍵付きの書庫にて書類は管理し、情報共有も関係機関内のみにしています。
非常時等の対応	⑳	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15			3	・口頭で説明いただき安心しています。	・実際の場所や方法を直接説明するとともに、ご家庭へ配布できるマニュアルの作成も検討してまいります。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8			10	・プログラム表に毎月避難訓練が入っています。まだ我が子はその日に当たったことはないで内容はわかりません。	・毎月プログラム内に訓練を入れて全児童が参加できますように検討してまいります。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	18				・利用前日などに明日「こぼん行く」などの発言ありとても楽しみにしています。	・様々な活動を引き続き検討し児童が楽しみながら成長できる施設でありたいと思います。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	15			3	・満足しています、子供の成長を日々感じるようになりました。	・今後も様々な方面から支援できるように対応していきます。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年11月20日

事業所名：こばんはうすさくら八幡西割子川教室

		チェック項目	はい	どちらと	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	1		国の設備基準である児童一人当たり3m ² 以上かつ死角のない指導員の目が届く1つの空間で集団療育を行えるスペースはあると思います。欲を言えば不穏になった際に児童10人に対し指導員2人以上という国の人員配置基準より増員した人員配置を常に行い、加配人員もいます。
	②	職員の配置数は適切である	10			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。 また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10			遊具の収納や来所から身支度の導線などは児童がわかりやすいように写真等で視覚支援を行っている。バリアフリーが必要なお子様はいらっしゃらないが入口の階段は2段あるのでそこは職員毎日の清掃や消毒に加えて、空気清浄機の設置など行い過ごしやすい空間づくりを考えています。また児童の動きがとれるように棚などの設置場所をなるべく少なくし
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10			業務に関する会議の回数を増やしたいが月に1回行うことが現状であります。職員間での話し合いは度は多く行う
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	5		アンケート結果を受け止めて、保護者様の意見も参考にして対応していきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10			結果を受け止めて今後の支援につながるよう努力します
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10			今後も第三者評価を行っていただけるように働きかける方針です。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			10	研修や本部からスーパーバイザーの派遣等により機会を確保しているが、
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10			ご契約前の見学・体験時に保護者面談を行いニーズを把握したり、行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。また外部機関で記録さ
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10			子どもへの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10			ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に則した支援内容を個別支援計画に掲げています。

	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10		連絡帳で確認できるようにしており、目標達成に取り組ん
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	10		月に一度、2ヶ月先のプログラムについて会議の場を設け
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	1	基本的に連日同じ活動にならないように、同じ曜日で固定せずに様々な活動を行っています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10		児童の発達段階に応じて、個別の課題と社会性等の集団行
	17	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10		朝礼での確認はもちろん、役割分担することで1日の支援
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	2	終礼の時間を設けており、児童の様子はもちろん、職員間での連携や業務内容についての振り返り行っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	2	記録についてはなるべくパソコンにデータ化することで職員が確認しやすくしています。また突発的な内容については手書きにて記録しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10		かかっている職員からの情報収集は常に行い、最低でも
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10		開催される場合には、可能な限り児童発達支援管理責任者・管理者・指導員が参加しています。他施設へ行き会議への参加も行っています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10		必要に応じて関係機関と連携をしながらご家庭のサポート
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	5	*現在該当児童の在籍はありません。 *必要に応じて連携について保護者と相談しながら行います。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	5	*現在該当児童の在籍はありません。 *必要に応じて連携について医療機関と連携をとります。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	3	幼稚園などと日々の様子や、最近出てきた特徴、上手くいった支援方法などを共有しています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	3	保護者の要望によって行っております。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		10	センターやセンターに属する相談事業所などの情報共有を行うことがありますが、研修などには至れておらず今後積極的に情報収集に動きたいと思います。また
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		10	感染予防の観点から行っていません、今後も状況次第では交流も検討します。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		10	感染予防の観点から行っていません、今後も状況次第では交流も検討します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	1	送迎時やお電話等で情報共有や情報収集を行うようにして
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		10	感染予防の観点から行っていません、今後は状況に合わせて実施の方検討していきます

		2024年10月1日現在、本邦に在住する外国人の数は、約1,200万人と推定されています。				これは、前年比で約10%の増加を示しています。
--	--	---	--	--	--	-------------------------

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10		利用開始時に書面を用いてご説明をさせていただいております。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10		ガイドラインについてはご契約時に説明をさせていただいております。支援計画は最低半年に一度は更新を行い、保護者様からの同意をいただいております。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10		日ごろから電話や送迎時に話す時間を設けています。内容を職員間で共有し支援方法について会議しています。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		10	コロナウイルスの関係で行い予定でしたが行えていません
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10		相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	3	毎月のプログラムや特別な行事の内容については逐一お便りやお電話で発信していますが、ブログなどの更新頻度は少ないです。今後は定期的な更新を検討します。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	10		個人情報については契約時に書面で同意をいただいております。個人ファイルについては
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10		視覚支援を中心に行い児童に情報が伝達しやすくなるよう対応しています。様々な場面の絵を用意し聴覚と視覚での情報伝達を行っています。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		10	コロナウイルスの流行で地域住民を招待するようなイベントは取り止めておらず、今後は地域の福祉施設を中心マニュアルについて職員会議にて対応方法等の確認を行っています。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	5	周知・訓練や保護者への周知について十分でない部分もあり、改善に努めます。マニュアルについても定期的に修正していきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	4	活動プログラムで様々な場面を想定し行っています。避難経路も定期的に確認しています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	10		契約時にお薬手帳のコピーをいただいております。また、てんかんについても状況を伺い起こりそうな予兆やシチュエーションがあれば事前に保
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10		毎日のお菓子の提供や給食の弁当、イベントにおいてもアレルギーは食品保管場所に児童ごとに明記し対応を徹底作成回数も多くないので今後は全職員が作成し事例の共有が行える体制を整えていきたいと思っております。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	5	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	3	社内研修を行い、防止に取り組んでおりますが、外部研修なども必要に応じて参加して
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10		*身体拘束に関しては、『利用者又は他の利用者の生命又は身体を保護するため緊急でやむを得ない場合を除き、行動制限その他利用者の行動を制限する行為を行いません。』という内容を契約時

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。